

# 那須さんぽ

いいところ見つけた!

No.38

…余笹川ハイキングコース…



余笹川ふれあい公園を発着点とし、川のせせらぎを聞きながら11.4km、約3時間のハイキングコースを歩きましょう。晴れた日には、中余笹橋から那須連山へと続く雄大な景色が広がり、春には満開の桜を楽しむことができます。

平成10年の那須水害後、余笹川では大規模な災害復旧工事が行われ、川幅が拡張されるとともに、自然景観や生態系に配慮した整備が行われました。また、河畔には桜が植樹されていますが、これは平成20年に那須水害復興10周年記念事業として、オーナー制の桜堤整備事業により植樹されたものです。「ふれ



余笹川の清流と満開の桜



9月に開催されるよささウオークには多くの人が参加します

あいの桜堤」と彫られた記念碑も建てられました。

下流に進むと、どんな洪水があっても埋まることなく元に戻るといわれる「もどおり淵」があります。「たらい淵」は余笹川と不沢川の合流点にあり、水深約5mのたらいのような淵です。水深があることから、太公望の姿がよく見られます。

那須塩原市赤沼地区まで歩くと、赤沼せせらぎ公園があります。防災拠点として整備された公園ですが、普段は地域の人々のいこいの場として利用されています。豊かな自然と清流に心洗われるようです。



「那須さんぽ」コーナーでは、町のいいところを紹介し、あなたが一番と思う、魅力ある場所をぜひご紹介ください。また、広報那須の「表紙」と「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真を随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

## かこころ

中高生が入学祝いにもらった一番うれしいものは、スマートフォンなのだそうです。試しに中学生に聞いてみると、やはりそのとおり。昨年11月現在、町内中学3年生の携帯電話所有率は約27%、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)利用率は約32%でした▼情報機器等の使用は便利な反面、保護

## こんにちは赤ちゃん



ひらいなのは  
平井菜乃陽ちゃん(芦野)  
平成25年12月24日生  
(父 洋平さん 母 ゆずきさん)

ほっぺは無敵のやわらかさ。おデブさんでもかわいいよ。



すどうしんじろう  
須藤真次朗くん(新高久)  
平成25年12月17日生  
(父 圭介さん 母 由江さん)

食いしんぼうの真くん。いっぱい食べて元気に大きくなってね。

者がその機能を十分に理解しないまま子供に使わせればとても危険なものです。私も通信機能のあるゲーム機でラインなどのSNSが利用できるのを知らず、反省したことがあります。スマホやゲームには依存性があり、使い過ぎると成長や学業に影響を与えます。また、SNSをきっかけにした事件やトラブルが社会問題となっています▼町PTA連絡協議会では、情報モラル育成に関するリーフレット

を作成し、PTA総会等で啓発活動を行っています。「中学卒業まではスマホ・携帯を持たせない」、「スマホにひそむ危険やインターネット等による悪影響について考える」、「情報モラルに関する授業・講習会を通して、情報化社会を正しく生きる力を身に付ける」を周知していきます▼インターネットやゲームの使用については、家庭内でよく話し合い親子が納得できるルールを決め、必ず守らせましょう。

町の世帯と人口 (4月1日現在・住民基本台帳)

・世帯数	10,064世帯	・人口	26,347人(男 13,045人 女 13,302人)
(前月比)	(+5)	(前月比)	(-71) (-39) (-32)